

小牧の中央道に建設のSA

東濃信金、融資の主幹事

総額46億円

東濃信用金庫は22日、2023年後半にオープン予定のサービスエリア(SA)「小牧オアシス」(愛知県小牧市)の事業主体となるオアシス小牧(小牧市、社本光永社長)に対する総額46億円のシンジケートローンを、商工組合中央金庫との共同主幹事で取りまとめたと発表した。同金庫が主幹事を務めるのは珍しい。小牧オアシスは中央自動車道沿いに新設する。高速道路と一般道から利用可能

で、運動、レジャー施設併設型のSA。スケートボードやスポーツクライミングができる施設やスケートリンク、温浴施設、巨大迷路やふれあい動物園も計画している。

参加機関は東濃信用金庫と商工組合中央金庫を主幹事に、愛知銀行、名古屋銀行、豊田信用金庫の5金融機関。参加金融機関事務受託人は商工組合中央金庫。シンジケートローンの契約締結日は4月26日。